

プライマリースクールからハイスクールへ： 大きなステップ

ハイスクールでの学習について



Year 7 [日本の中学1年に相当]に進学すると、これまでに習ったことのない新しい科目や、習っていた科目でもすっかり違った方法で取り組まなければならない科目もあります。

生徒たちにはまた、これまで以上の自主性と自立心が要求されます。

Year 10 [高校1年に相当]の終わりにSchool Certificate (第7学年-第10学年 [中学1年~高校1年に相当]のコースを一定の成績で修了した生徒に与えられる証明) 取得資格を得るには、Year 7から以下の科目を取らなければなりません。

- 英語
- 数学
- 科学
- 地理
- 歴史
- 語学
- 技術
- 視覚芸術
- 音楽
- 自己開発、保健体育 (PDHPE)

Years 7-10では、いくつかの選択科目を選ぶことになります。Year 9やYear 10の選択科目としては、次の科目が最も一般的です。

- アボリジニ学
- 農業技術
- 商学
- 舞踊
- デザインおよび技術
- 演劇
- 食品技術
- グラフィックス技術
- 工業技術
- 情報・ソフトウェア技術
- 海洋技術・水産養殖技術
- 音楽
- 写真・デジタル・メディア
- 運動・スポーツ学

- 繊維技術
- 視覚芸術
- ビジュアル・デザイン
- 職業教育
- 17言語より選択

科目希望生徒数や科目担任教師の有無によって、学校ごとに選択科目が異なる場合があります。特定の分野に優れた才能や強い興味がある場合には、公立の専門ハイスクールへの進学も考慮の対象になります。

学校での課外活動

公立のハイスクールでは、生徒の社会的成長や人格形成を助けるために、次のような課外活動を編成しています。

- ピア・サポートおよびピア・メディエーション
- 生徒指導教官
- 才能教育プログラム

- 賞与・表彰プログラム
- 薬物・保健教育
- 反人種差別教育
- 家庭内暴力・児童保護教育
- 犯罪防止プログラム
- 保健・フィットネス・プログラム
- Year 6-7進級プログラム
- 指導力養成
- 生徒会
- 野外キャンプ、遠足

宿題

公立ハイスクールでは、授業日には毎日宿題を渡され、進級に従って、宿題量も内容の難しさも大きくなります。宿題の目的は、授業内容を復習し、さらに研究や時間管理の能力を開発することにあります。また、勉学の習慣をつけ、集中力や自制心を養う助けをします。

保護者は、次のような方法で子供の勉強を手伝ってあげてください。

- 宿題に積極的な関心を持つ。
- 毎日、宿題の時間を決める。
- 可能な限り、宿題や勉強に集中できる場所を確保する。
- 教師から要請があれば、宿題を監督し、終われば宿題に署名する。また、宿題の量も把握しておく。
- 宿題の内容、宿題への取り組み方に意見がある場合は、遠慮なく教師に相談する。
- 時事問題について読んだり、関心を持つようにしむける。
- 宿題の割り当てや評価について、考慮しなければならない家庭事情や課外活動があれば、速やかに学校に連絡する。

学校では、保護者と話し合っ、独自の宿題方針を作っています。宿題方針については、学校でプリントを用意しております。

通知表

最低年2回、通常第2学期と第4学期の終わりに、生徒の学業成績を記録した通知表を保護者にお渡ししております。子供の成績について、学校長や教師と相談希望の方は、遠慮なく学校までご連絡ください。

ほとんどの学校で、保護者と教師の懇談会を開き（通常は夜間）、保護者と教科担任教師が子供の学習状況を話し合う機会を設けています。また、保護者が子供の学習状況について懸念や意見がある場合には、いつでも学校を訪問、または電話連絡し、話し合われるようお願いしております。

保護者と教師の話し合いに通訳ご希望の方は、通訳の同席を求めることができます。学校側で手配できる場合もありますので、事前に学校とご相談ください。

電話通訳サービス

学校長への連絡に通訳を必要とされる方は、まず電話通訳サービス (Telephone Interpreter Service: 131 450) に電話し、日本語通訳と指定してください。通訳は電話を介して、学校長との話し合いをお手伝いします。この電話通訳サービスは無料です。

NSW Department of Education

GPO Box 33
Sydney NSW 2001
T 9561 8000



Education
Public Schools